

## 第八章 事業ヲ擴張シ又ハ擴張計畫中ノ鑛山

明治三十九年ニ於テハ各地ノ鑛山ニ於テ採鑛製鍊等ノ事業ヲ擴張シ又ハ擴張計畫中ニ屬スルモノ頗ル多シ今單ニ福岡鑛山監督署管内ノ炭坑ノミニ付テ之ヲ見ルモ坑内排水捲揚機、發電機、原動機其他鑛業用ノ爲ニ増設又ハ新設シタル汽罐ノ數二百十四臺ニ上リ此他同管内ノ金屬山ニ於テモ三臺ヲ増シ之ヲ三十八年末ニ於ケル同管内ノ鑛山据付汽罐數千二十七臺ニ比スレハ實ニ三十九年中ニ二割ノ増設アリタルヲ見ルノ情况ナリ左ニ各地鑛業ニ關スル事業ノ擴張又ハ擴張計畫中ノ主ナルモノヲ掲載スヘシ

### (一) 主トシテ金ヲ產出スル鑛山

#### 川原澤金山 (金)

所在地 青森縣中津輕郡  
鑛業權者 相馬利三郎

徑十八尺木製水車一臺ヲ新設シ重量二十貫ノ木製五本立杵二臺ヲ以テ一ヶ月三萬六千貫ノ粗鑛ヲ處理シ產金高一ヶ月約六百匁ヲ得ルニ至レリ

#### 鷲ノ巢金山 (金銅)

所在地 岩手縣和賀郡  
鑛業權者 爲田文太郎

從來採鑛ニ用ヒタル拔掘法ヲ廢シ露天掘ト爲シ濕式製鍊法ニヨリ毎日鑛石七十噸含金平均〇.〇〇〇九五%ヲ處理スヘキ計畫ナリト云フ

#### 鹿折金山 (金銀)

所在地 宮城縣本吉郡  
鑛業權者 德永重康

從來毎月四萬八千貫ノ粗鑛ヲ處理シタリシカ更ニ規模ヲ擴大シ粗鑛二十四萬貫ヲ處理スルコト、  
シ「カリフォルニア」式八百五十封度五本立杵二臺ヲ新設シ之ニ伴ヒ青化製鍊裝置ヲ増設セリ外ニ「コ  
ーニツシュ」式汽罐一臺及不凝縮三十馬力汽機一臺ヲ設置セリ

松森金山 (金) 所在地 鑛業權者 宮城縣 桂二郎

本鑛山ニアリテハ從來使用ノ搗鑛混汞法ノ外新ニ一ヶ月鑛滓三萬貫ヲ處理スル目的ヲ以テ青化製  
鍊場ヲ建設セリ

佐渡鑛山 (金銀銅) 所在地 鑛業權者 新潟縣佐渡郡 三菱合資會社

從來探鑛ノ爲ニ掘進中ナリシ高任坑二番坑道ヨリ新開歩北延ヒニ向ヘルモノハ既ニ目的ノ中尾舊  
坑下部ニ達シ又大立三番坑ヨリ大切坑下部ニ向ケ掘進工事モ殆ト其目的ヲ達シタルヲ以テ從來ノ  
探鑛高一ヶ月五千噸内外ナリシモ近キ將來ニ於テハ一ヶ月約一萬噸ヲ探鑛スルニ至ルヘシ又製鍊  
ニアリテハ從來廢棄シタル泥鑛ハ尙ホ金百萬分ノ三銀十萬分ノ一ヲ含有スルヲ以テ一日五十噸ヲ  
處理スル泥鑛青化製鍊場ヲ増設セリ

波佐見金山 (金銀) 所在地 鑛業權者 長崎縣東彼杵郡 波佐見 長崎縣東彼杵郡 波佐見 長崎縣東彼杵郡

探鑛ニ電氣鑿岩機ヲ使用シ毎日鑛石(平均) 三〇〇〇〇九% 三百噸ヲ製鍊スル目的ヲ以テ目下其計畫中  
ナリト云フ

山ヶ野金山 (金銀) 所在地 鑛業權者 鹿兒島縣始良郡外一郡 島津忠重

前年事業ノ大擴張ヲ決行シ大通道ヲ開鑿シ水力電氣ヲ起シ從來ノ製鍊場ヲ廢シ新ニ一日鑛石四萬

貫ヲ處理スルノ目的ヲ以テ大規模ノ製鍊場ヲ建設スルカ爲メ目下工事中ニ屬セリ製鍊法ハ從來ト  
同ク搗鑛混汞及青化ノ兩法ヲ併用シテ之ヲ處理シ搗鑛所ニ八百五十封度鐵製杵五本立十六臺、固定  
銅盤八臺、搖動銅盤八臺及銅板製尖函八個ヲ設置シ青化製鍊所ニハ砂鑛用トシテ「ウキルフレ」淘汰  
盤八臺、集砂槽銅板製徑三十尺深六尺四個、滲出槽銅板製徑三十尺深七尺六個、貴液槽銅板製徑三十尺  
深五尺六個、亞鉛沈澱函八個及「バツター」式自動配鑛器四個ヲ備ヘ又泥鑛用トシテ尖函銅板製徑二十  
尺深十五尺一個攪拌槽「セメント」製徑十尺深十一尺五寸二個、水壓槽(プレッシャー・タンク)銅板製一個「デー」式漉搾器等  
トス

(二) 主トシテ銀ヲ產出スル鑛山

椿鑛山 (銀) 所在地 鑛業權者 秋田縣山本郡 武田恭作

本鑛山ハ三十九年四月現鑛業權者ニ移リタル以來事業上革新ヲ行ヒ坑内ヲ整理シ生鑛製鍊法ヲ以テ  
一ヶ月產銀約一千貫製出ノ計畫ヲ以テ今ヤ着々其工事中ニアリ而シテ既ニ建設セラレタル重ナル  
モノヲ舉クレハ坑内ニアリテハ從來ノ蒸汽唧筒ヲ全廢シ代フルニ五十馬力電動機直結「タービン」唧  
筒一臺ヲ設置シ坑外ニアリテハ熔鑛場ニハ長サ九尺巾三尺五寸ノ橢圓形熔鑛爐一坐、山下爐一坐、製  
團場ニハ粉鑛製團用十本立杵四臺送風機ニハ百馬力「ベルト」水車、六番形及三番形「ルー」式送風機  
各一臺及「ベーカー」式送風機一臺据替其他木工場鐵工場等トス又眞瀬川ノ上流ニ水力發電所ヲ設ケ  
二百馬力「マツコーミツク」式「タービン」ヲ用ヒ電力百二十「キロワット」ヲ得テ前記各動力用トシテ供給

セリ

其工事中ニ屬スルモノハ電動機直結タービン唧筒一臺及電氣吊下唧筒二臺、鑛水石灰加入裝置、電力捲揚機三臺、捲揚機、選鑛場及鑛石積卸場、ルーツ九番形送風機、熔鑛爐（長三十尺）一坐、分銀爐一坐、乾團爐（長六十尺、巾十二尺）一坐、鍊粉機二臺、製材場（二十四尺立鋸製材器械一臺、第二水力發電所（五百馬力）マツコーミツク、タービンヲ用ヒ電力三百キロワットヲ得ル豫定）及電氣鐵道（構内外ニ布設延長約三哩）トス

如此三十九年ニアリテハ工事一部ノ竣成ヲ見ルニ過キサリシト雖モ同十月以降製鍊ヲ開始シ既ニ一ヶ月四十餘萬貫ノ鑛石ヲ製鍊シ約二百四十貫ノ產銀ヲ見ルニ至レリ

院内鑛山（金銀銅鉛）所在地 秋田縣雄勝郡 古河鑛業會社

製鍊法ノ改良ニ依リ著ク事業ノ發展ヲ來セリ即チ從來ノ混汞法ヲ全廢シ上中下鑛ノ別ナク之ニ久根鑛山所產ノ銅鑛ヲ配合シ生鑛製鍊法ヲ應用スルニ至リタルヲ以テ從來ノ熔鑛爐ノ外新ニ巾三尺長サ五尺ノ熔鑛爐一坐、ルーツ式送風機二臺ヲ増設シ金銀ノ產額ヲ殆ト倍加シタリ

生野鑛山（金銀銅鉛）所在地 兵庫縣三寶壠合資會社

本鑛山ハ三十九年九月以來金銀鑛淘汰トシテ從來使用シタリシ「フリユー」淘汰盤ノ一部ヲ廢止シ新ニ「ビンダー」淘汰盤ヲ試用シタリシカ其成績頗ル良好ナリシヲ以テ爾今「フリユー」淘汰盤全部ヲ廢シ「ビンダー」淘汰盤ヲ以テ之ニ代フルノ設計ヲ爲セリ又採鑛ニ於テハ大盛坑第六番坑ヨリ金香瀨坑ノ最下底ニ向テ長距離ノ疏水道ノ開鑿ニ從事シ今ヤ既ニ約三分ノ二ヲ竣工セリ此事業ハ通氣、運搬其

他諸般ノ點ニ於テ多大ノ關係ヲ有スルヲ以テ將來該水道貫通ノ曉ハ漸次事業上一大新面目ヲ呈スルナラン

多田鑛山（銀銅）所在地 兵庫縣川邊郡 鑛業權者 堀藤十郎

本鑛山ハ新ニ大口坑附近ニ堅坑ノ開鑿ヲ始メ又從來ノ手選々鑛法ハ鑛量ノ増加ニ應スル能ハサルヲ以テ漸次之ヲ廢止シ機械選鑛法ニ變更スルノ設計ヲ爲シ目下選鑛場ノ建築中ナリ其他往古盛況ヲ呈シタル御着臺所瓢箪間歩等ノ舊坑ノ下底ヲ採掘スルノ工事ニ着手セリ

久喜鑛山（銀鉛）所在地 島根縣邑智郡 鑛業權者 堀藤十郎

本鑛山ハ事業擴張ノ目的ヲ以テ新ニ碎鑛機一臺、熔鑛爐一坐、七馬力發動機一臺、七馬力四番形送風機一臺ヲ増設中ニ在リ

### (三) 主トシテ銅ヲ產出スル鑛山

小坂鑛山（金銀銅鉛亞鉛）所在地 秋田縣鹿角郡 鑛業權者 合名會社 藤田組

本鑛山ニアリテハ新ニ歐米ヲ通シテ最大ナル熔鑛爐一坐ヲ建設シ燒鍛爐三坐ヲ増シ電氣精銅所ヲ倍大シ益々製鍊ノ規模ヲ擴張シタルト同時ニ第四發電所（水車軸ニテ千二百馬力）ヲ増設シ又本鑛山及山縣鑛山間ニ一萬千尺ノ架空鐵索ヲ設ケ奥羽官線大館驛ヨリ分岐シ長木村字茂内屋敷ヲ經テ小坂ニ達スル專用鐵道ヲ敷設シ以テ交通運輸ヲ便ニシ大ニ他山ノ鑛石ヲ購入シ益々事業ノ發展ヲ期セントセリ而シテ其既ニ竣工シタルモノハ熔鑛爐及ヒ電氣精銅所ニシテ他ハ工事中ニ屬スルモ

ノトス

新設熔鑛爐ハ羽口ノ水平断面ニ於テ内法長六十尺幅三尺五寸羽口中心ヨリ裝入床ノ高二十尺ニシテ羽口直徑五寸ノモノ百十六個ヲ備ヘ前床ハ前後兩端ニアリ水銀柱三十七ミリメートルノ風壓ヲ用キテ一日鑛石熔解材共六百五十噸乃至七百噸ヲ熔解スト云フ

燒鍛爐ハヘレスホッフ式ニシテ既設ノモノト異ナル點ハ爐床ヲ六段トシ爐軸ヲ水套式ニ變更セリ工程ハ既設ト同シク一日鍛約三千貫ニシテ既設ノモノニ比スレハ脫硫ノ成績良好ナルノ見込ナリト云フ其他前項ノ増設ニ伴ヒ必要ナル送風機及電動機等ノ増設ニ至リテハ列舉ニ遑アラス

## 不老倉鑛山 (銅)

所在地 秋田縣鹿角郡  
鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ハ先年細地鑛山ヲ合併シ著ク鑛區ヲ増加シタリト雖モ選鑛場ノ設備不足ノ爲所要ノ製銅ヲ見ル能ハサリシヲ以テ更ニ一日三四萬貫ノ粗鑛ヲ處理シ得ヘキ選鑛場ヲ新設セリ之ニ依テ將來優ニ一ヶ月十萬斤以上ノ製銅ヲ見ルヲ得ヘキ計畫ナリ而シテ右新選鑛場ニ於テハ今回スタートバンド、バランスド、ロールナル轉輾器ヲ採用シタリト云フ

## 阿仁鑛山 (金銀銅)

所在地 秋田縣北秋田郡  
鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ハ目下毎月約十七萬斤ヲ製出スルト雖モ尙ホ將來ニ於ケル發展ヲ期シ專ラ小澤大堅坑及萱草大堅坑ニ依テ下部ヲ開鑿スルト同時ニ上部疏水道以上千尺以外ニ於ケル殘存ノ鑛脉ヲ開發スルノ目的ニテ小澤一番坑道子午鍾北向寛文坑道同斷、眞木中央坑道小澤釜ノ澤大切坑道及ヒ三牧一ノ又ニ於ケル有望ノ場所モ悉ク探鑛ニ着手セリ而シテ小澤組選鑛場ニハ「ウキルフレ」淘汰盤ヲ増設

シ、製鍊所ニハ内法幅三尺長サ八尺二寸兩端橢圓形ノ熔鑛爐一坐ヲ増設シ一日ニ鑛石一萬五千貫以上ヲ熔解セリ

前記坑内外ノ擴張ニ伴ヒ原動力ヲ増加スルノ必要アルヲ以テ一ノ又ニ百「キロワット」ノ水力發電所ヲ新設シ之ヲ萱草坑内捲揚及排水用ニ供シ從來ノ約二百五十馬力ハ專ラ小澤坑内捲揚排水並ニ製鍊所ニ供給セリ

## 山縣鵠鑛山 (金銀銅鉛)

所在地 秋田縣鹿角郡  
鑛業權者 山縣勇三郎

從來專ラ探鑛及ヒ坑内整理ヲ主トシ傍ラ山下吹ノ製鍊法ヲ行ヒタルカ三十九年ニ至リ選鑛場ニ嚙鑛機二臺製鍊ニ徑四尺ノ熔鑛爐一坐及眞吹床五坐ヲ新設シ毎月型銅約五萬斤以上ヲ製出スルニ至レリ而シテ更ニ同年十一月以降ハ鑛石ノ全部ヲ小阪鑛山ニ販賣スル約成リシヲ以テ從來ノ選鑛及製鍊場ヲ全廢シ新ニ大堅坑ヲ開設シ完全ナル機械的選鑛場ヲ建設スルノ目的ヲ以テ目下工事中ナリ

## 尾去澤鑛山 (金銀銅鉛)

所在地 秋田縣鹿角郡  
鑛業權者 三菱合資會社

本鑛山ハ富鑛ノ產出漸次減少セルカ爲メ多量ノ粗鑛ヲ處理スルノ必要ヲ生シ從テ大ニ事業ノ擴張ヲ見ルニ至レリ即チ探鑛ニアリテハ元山ニ堅坑ノ開鑿ニ着手シ獅々澤ニ新坑ヲ開キ「ライナー」式鑿岩機二臺ヲ用ヒテ掘進シ選鑛ニアリテハ跳汰器九臺「ハンチングトン、ミル」三臺ヲ増設シ更ニ試驗用トシテ「ハンコック」式跳汰器一臺ヲ採用セントス製鍊ニアリテハ長八尺幅三尺ノ熔鑛爐一坐、乾燥爐六坐、眞吹床二坐等ヲ増設シ製團用木製杵五十二本ヲ新設セリ原動力ニアリテハ米代川上流ニ於テ約一千馬力ヲ得ヘキ第二發電所ヲ設計シ又骸炭石灰石運搬用ノ爲メ石深井山許間二里二十二町ノ

新道開鑿ニ着手セリ

日三市鑛山 (金銀銀鉛) 所在地 秋田縣仙北郡 鑛業權者 三菱合資會社

一角澤疏水坑道(豫定延長八百五十三尺)ノ開鑿ニ着手シ既ニ三百五十七尺ヲ進掘セリ  
又第二選鑛場ヲ建設シ「ハンチングトン、ミル」二臺「カメツト」淘汰盤四臺、跳汰器四臺、尖函一組及二十馬力電動機一臺ヲ設置セリ

荒川鑛山 (銀銅鉛) 所在地 秋田縣仙北郡 鑛業權者 三菱合資會社

嗽澤坑内ニ七十五馬力ノ「ル」ス「電氣唧筒」一臺及百目石堅坑内五查坑道ニ六十五馬力「ヂーン」電氣唧筒二臺ノ据付ヲ終リ百目石堅坑ニ百馬力電氣捲揚機ヲ新設シ益々坑内ノ發展ヲ計リ選鑛場三「ハンチングトン、ミル」「ウキルフレ」式淘汰盤各一臺、尖函一組、跳汰器四組ヲ増設シ五十馬力電動機ヲ設置セリ

水澤鑛山・(銅) 所在地 岩手縣和賀郡 鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ハ目下毎月約二萬五千斤ノ製銅アルモ尙ホ一層ノ發展ヲ期スル爲メ坑内ヲ擴張シタルト共ニ選鑛場ヲ増設シ「クロム」式改良「ロール」及「ウキルフレ」式淘汰盤ヲ新設シ之ニ依リ將來一ヶ月四萬斤以上ノ製銅ヲ得ヘキ計畫ナリ

日立鑛山 (銅) 所在地 茨城縣多賀郡 鑛業權者 久原房之助

本鑛山ハ三十八年十二月現鑛業權者ニ移リタル以來殆ト事業ノ面目ヲ一變シタルノ觀アリ探鑛ニアリテハ在來未着手ノ神峰坑部ヲ開掘シ四坑道ヲ通シ尙ホ坑内斜坑ヲ卸シ低部ノ探鑛ヲ旨トシ本

鑛部ニ於テハ(在來開掘セシ部)地表ヨリ堅坑ヲ掘リ下クルノ外別ニ最低坑道ヨリ鑛層ノ傾斜ニ沿ヒ斜坑ヲ卸シ以テ下部ノ探鑛ヲ急進セシメントス又一方ニハ中盛坑ヲ開掘シ從來未着手ノ部ヲ探鑛シテ既ニ鑛層ニ達スルコトヲ得タリ而シテ探鑛用トシテ三十五馬力壓氣機ヲ用ヒ二臺ノ「ライナー」式鑿岩機ヲ使用セリ

如此三十九年ニ於テハ専ラ探鑛ヲ主トシタルヲ以テ一ヶ月所産ノ粗鑛量ハ六十萬貫餘ニシテ其選鑛量五十萬貫内外其含銅品位百分ノ四ナリ而シテ毎月四十萬貫ヲ製鍊ニ付セリ其製鍊法ハ生鑛製鍊法ヲ以テ月額四十萬貫ノ生鑛ヲ處理シ含銅品位百分ノ十七ノ鍍ヲ得更ニ之ヲ鍊鍍シ含銅百分ノ四十ノ二番鍍トシ眞吹法ニ依リテ粗銅月額八萬斤餘ヲ製出セリ其熔鑛爐ハ生鑛製鍊ニハ長八尺巾三尺五寸ノ爐ヲ使用シ鍊鍍ハ徑三尺ノ「ビル」式圓爐ヲ使用ス送風機ハ十番形六番形ノ「ル」式二臺ヲ備ヘ原動力ニハ十二馬力瓦斯「エンジン」三十五馬力ノ可動蒸汽機ヲ使用シ別ニ二十馬力直流電動機ヲ置キ原動力機ノ豫備トス

以上ハ三十九年中ニ於テ新ニ設備シタルモノナルカ尙ホ將來ノ計畫及工事中ニ屬スルモノハ久慈郡中金村ニ於ケル發電所工事(電力四百「キロワット」)ハ將ニ四十年三月ヲ以テ完成セントスルヲ以テ探鑛ニハ二十馬力ノ捲揚機二臺、二十馬力一臺五馬力ノ唧筒二臺ヲ用ヒ又七十五馬力ノ壓氣機ヲ用ヒテ六臺ノ「ライナー」式鑿岩機ヲ使用シ大ニ出鑛高ヲ増シ月額百萬貫ノ選鑛石ヲ得製鍊ニ於テハ八尺爐二坐ヲ増設シ(内一坐ハ既ニ完成)月額十五萬斤以上ノ製出豫定ナリ

草倉鑛山 (銅) 所在地 新潟縣東蒲原郡 鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ハ毎月約七萬斤ノ荒銅ヲ製出スルモ之ヲ數年前ノ製出高ニ比スレハ頗ル遜色ナキ能ハス依テ大ニ將來ノ發展ヲ圖ル爲メ草倉本鑛同奥龜舟内澤鑛等ノ北部ニシテ未タ探掘セサリシ場所ノ探鑛ニ着手シタリ

## 足尾鑛山 (金銀銅)

所在地 栃木縣足尾町  
鑛業權者 古河鑛業會社

本鑛山ニ於テハ專ラ下部ノ探掘ニ便セン爲メ從來四個ノ大豎坑(深サ五百尺乃至二百尺ノ豫定)ヲ掘リ下ケツ、アリシカ尙ホ下部ノ發展ヲ圖ル爲メ更ニ光盛前鑛豎坑及簀子橋本口豎坑ヲ開坑シ一方ニハ天狗澤ト鈴子澤トノ中間ニ羅列セル雄大ナル數多ノ露頭ノ下部ニシテ未タ曾テ着手セサルモノヲ探鑛センカ爲メ小瀧地並大瀧入七號鑛ヨリ「ライナー」式鑿岩機ヲ用ヒテ東方約千尺ヲ進掘スルコトニ着手シ同時ニ小瀧文象大切坑地並ヨリ西北ニ向ヒ新鮮ナル有望部ヲ探鑛スル目的ヲ以テ是又「ライナー」式鑿岩機ニ依リ急進シツ、アリ

製鍊法ニ於テハ全然生鑛製鍊法ヲ採用シ燒鑛ノ設備ヲ全廢スルニ至リタルヲ以テ製鍊場ヲ改築スルコト、ナレリ而シテ其新ニ築造スヘキ燒鑛爐ハ三坐ニシテ風壓一、五封度ヲ用ヒ一爐一日鑛石約百噸ヲ熔解シ得ヘク全部鐵製水胴式ニシテ羽口ノ水平斷面ニ於テ幅四十四吋長百四十吋ノ大サヲ有シ十八個ノ直徑四、五吋ノ羽口ヲ具フ其製出鍛ハ前床ヨリ直ニ「レールド」ニ受ケ二十噸ノ移動起重機ニ依リ「コンヴァーター」ニ裝入ス「コンヴァーター」ハ二臺ヲ備ヘ其直徑七十二吋長サ百吋ニシテ水壓機ニ依リ回轉セシメ建家ハ鐵骨ニシテ不燃質ノモノヲ用ヒ前記三坐ノ外尙ホ一坐ヲ増設スヘキ餘地ヲ有スル設計ナリ

## 畑佐鑛山 (銀銅鉛)

所在地 岐阜縣郡上郡  
鑛業權者 株式會社寶生館

製鍊ニ於テ大ニ古鑛ノ再熔ヲ企テ燒鑛爐裝入物ノ配合ヲ五割ノ古鑛二割ノ吹返シ鑛五割ノ石灰石トシ鑛石ハ燒鑛及生鑛ノ兩者ヲ用ヒ其量僅ニ二割五分ニ過キス此古鑛ハ品位銅百分ノ一、一銀萬分ノ九ニシテ優ニ利益ヲ見ルニ至リシ結果當分此廢物ヲ利用シ專ラ探鑛ニ努ムルコト、セリ而シテ從來ノ原動用「ベルト」水車ニ供給スル水ハ重ニ綠青坑排水及ヒ鍛冶屋谷ナル綠青坑口下ノ處ニ於テ同谿谷ヲ堰留メ谿水全部ヲ導クノ裝置ヲ施セリ

## 高根鑛山 (銅)

所在地 岐阜縣右衛門郡  
鑛業權者 麻田佐衛門

第二大切坑(通洞)地並以下ノ探鑛ニ着手シ既ニ八十八尺ヲ掘下ケ其排水用トシテ「コルニツシユ」式汽罐一臺達磨唧筒及「ゼット」唧筒各一臺ヲ据付タリ而シテ現今探掘セル鑛石ハ總テ通洞地並ナル山福豎坑下ニ集合シ手動捲揚機ヲ以テ坑外ニ搬出シタルモ今後探鑛場ノ擴張ト共ニ運搬力不足ヲ告クヘキカ故ニ一番大切坑口ニ搬出ノ目的ヲ以テ坑内設備ノ改造中ナリ

製鍊ニアリテハ從來ノ燒鑛爐不完全ナルヲ以テ「ストール」窯十六個ノ新設中ナリ其大サ各區ノ幅七尺五寸長七尺五寸高八尺ニシテ一區ノ容量六千五百貫ナリ

本鑛山ハ更ニ探鑛運搬其他鑛業全般ノ利益ニ鑑ミ鑛山所在地ト反對ノ谿谷ヨリ延長六千尺ノ通洞開鑿ニ着手セリ

## 平金鑛山 (銀銅)

所在地 岐阜縣大野郡  
鑛業權者 横山隆興

從來ノ探鑛ハ專ラ第一第二大切ノ二坑ノミナリシカ更ニ北部鑛先探鑛ノ目的ヲ以テ北海道坑ナル

上下二坑ヲ開坑シ既ニ採鑛ヲ爲スニ至レリ製鍊場ニハ既設熔鑛爐ノ外更ニ内徑三尺長九尺高十尺ノ熔鑛爐二坐ヲ増設スル工事中ニ屬シ又試験的ニ生鑛製鍊法ヲ採用セリ

## 遊泉寺鑛山 (銅)

鑛業權者 石川縣能美網郡

本鑛山ハ専ラ電力ヲ使用スルノ目的ヲ以テ別宮村ニ水力發電所ヲ設ケ選鑛製鍊ノ二工場ヲ改設シ又貨物運搬用トシテ本鑛山及小松間ニ專用軌道ヲ敷設セントスルノ計畫ナリ

## 屋小屋鑛山 (銅)

鑛業權者 石川縣能美網郡

本鑛山ハ新ニ選鑛機械ヲ設備シ又沈澱濾過ノ兩池ヲ擴張シ既ニ十中八九ヲ竣工シ不日完成ヲ告ケントスルニ至レリ

## 別子銅山 (銅)

鑛業權者 愛媛縣宇摩郡外一門

本鑛山四阪島製鍊所ハ三十九年三月以來燒鍛ストール窯ヲ改築シ又十一月以來鍊銅爐一坐ヲ増設シタル結果一ヶ月鑛石ノ處理高約二十萬五千貫ヲ増加シタリ其他十馬力ノ唧筒一臺ルーツ式送風機五臺ヲ新設シ第一自働傾斜道ヲ延長シ東平選鑛場ヲ竣成スル等著々改良ノ實ヲ舉ケツ、アリ採鑛ニ於テハ數年間繼續事業中ナリシ第三隧道ハ竣工ヲ告ケ且ツ坑内ノ火災以來都間歩大平間歩ノ二舊坑ノ開鑿ニ着手シ以テ第一隧道以上ニ存在スル鑛物ヲ採掘シ同時ニ通氣ノ良好ヲ期セントシ又開坑ノ方法ヲ改テ坑道ハ三百尺ヲ進掘スル毎ニ坑井ヲ新設スルコト、ナシ其他坑内ニ自働捲揚機械ヲ裝置シ鑛物ノ搬出ニ便ナラシムルノ設計ヲナセリ此計畫ハ數年ニ亘リ完成ヲ期スルモノニシテ三十九年四月ヨリ着手セリ而シテ更ニ十ヶ年ノ繼續事業トシテ該山最低水準ニ於テ約一萬

尺ニ亘ル長距離ノ第四隧道ヲ開鑿スルノ計畫アリト云フ

## 國盛鑛山 (銅)

鑛業權者 岡山縣勝田郡

本鑛山ハ探鑛採鑛ヲ擴張スル爲メ新ニ堅坑斜坑及橫坑ヲ開鑿スルノ計畫ニシテ其一部ハ既ニ着手セリ

## 吉岡鑛山 (銀銅硫化鐵)

鑛業權者 岡山縣川上郡

本鑛山ハ粉鑛ヲ精選スル爲メ新ニカメツト式淘汰盤一臺及「ウキルフレー」式淘汰盤一臺ヲ設置シ以テ粉鑛ノ處理ヲ完全ニセントセリ又其支山ナル幸盛坑下底ノ鑛石ヲ採掘セン爲メ堅坑ノ開鑿中ナリシカ本年末ニ至リテ殆ト完成ヲ見ルニ至レリ

## 帶江鑛山 (銅)

鑛業權者 岡山縣都窪郡

本鑛山ハ製鍊所擴張ノ目的ヲ以テ邑久郡朝日村大島ノ土地ヲ買收シ現製鍊所全部ヲ移轉シ之ヲ一ノ中央製鍊所トシテ各支山ノ鑛石ヲ舟楫ノ便ニ依リテ蒐集セントスルノ計畫ニシテ既ニ各種ノ製鍊機械ヲ注文シ目下其移轉ヲ急ケリ

採鑛ニ於テハ現今各堅坑ノ深サ三百五十尺乃至六百五十尺ナリシヲ五ヶ年ニ涉リ尙ホ二百尺宛ヲ掘リ下クル豫定ニテ壓氣機及鑿岩機ヲ使用スルノ計畫ナリト云フ

其他坑内用トシテ米國「ウオーシングトン」式電氣唧筒二臺ヲ採用セントシ之ニ直結スヘキ電動機ハ各四十馬力揚水量一分間約二十立方尺以上揚水ノ高サ五百呎ナリト云フ

## 三原鑛山 (銅)

鑛業權者 岡山縣後月郡

本鑛山ハ事業擴張ニ從ヒ附近農民ノ苦情甚シキヲ以テ漸次製鍊ヲ廢セントス故ニ現今ハ專ラ採鑛事業ノ擴張ニ努メ三十九年三月以來地表ヨリ堅坑ヲ開鑿シ以テ現今採鑛場ノ東向引立ノ通氣ヲ良好ナラシメ又寺山坑ヲ開掘シテ疏水坑道ノ通氣ヲ佳良ナラシメタリ而シテ現今ノ採鑛場ハ既ニ疏水道以下ニ掘進シ漸次排水ノ困難ヲ感スルニ至リタルヲ以テ更ニ其最下底以下約百五十尺ノ地點ヨリ新大切ト稱スル疏水道ヲ開鑿シ以テ排水及運搬ノ用ニ供セントス而シテ此計畫ハ約三ヶ年ノ豫定ニシテ三十九年ヨリ其工事ニ着手セリ

鷹山鑛山 (銅) 所在地 廣島縣 代表者 西本健次郎

本鑛山ハ事務所ノ附近ニ於テ新ニ選鑛場製鍊場ヲ階段狀ニ設置シ其建築工事ハ全部既ニ落成シ目下嚙鑛機磨鑛機淘汰機及淘汰盤ノ裝置中ナリ

又右二場ノ側面ニ傾斜捲揚機延長二百尺傾斜三十五度ヲ裝置セリ而シテ以上諸器械ノ原動力トシテ六十馬力ノ「ペルトン」水車ヲ設計シ既ニ工事ヲ竣レリ

銅ヶ丸鑛山 (銀銅) 所在地 島根縣 堀根縣 邑智郡 代表者 藤十郎

本鑛山ハ粉鑛精選ノ爲メ圓筒篩ヲ増加シ浮鉈處理ノ爲メ沈澱池ヲ増設シ大ニ選鑛法ノ改善ヲ計レリ

現今綠青坑道以下ハ全部浸水ノ爲メニ其坑口附近ニ唧筒ヲ裝置シ排水ヲ爲スノ設計ヲ立タリ而シテ此工事中ハ露頭附近ニ於テ盛ニ露天掘ヲ行ヒ又坑内ニ於テハ該坑道以上ヲ稼行シテ以テ採鑛高ヲ減少セサルノ豫定ナリト云フ

大森鑛山 (金銀銅) 所在地 島根縣 堀根縣 邑智郡 代表者 合名會社 藤田組

本鑛山ノ坑内ハ漸次排水ニ困難ヲ來セルヲ以テ定置電氣唧筒各三臺ヲ増設シ永久疏水坑道以下五百七十八尺迄排水セシムルノ設計ヲ爲シ(現今ハ同疏水坑道以下三百四十七尺ヲ最大限トス)又坑内ニ人ヲ昇降セシムル爲メ電氣捲揚機一臺ヲ設ケツ、アリ而シテ以上諸器械ノ原動力トシテ柑子谷川冠川ノ會合點ニ水頭百十尺ノ第二水力發電所ヲ増設スルノ計畫ナリト云フ

(四) 鐵山

釜石鐵山 所在地 岩手縣 上閉伊郡 代表者 田中長兵衛

本鑛山ニ於テハ三十八年中新設ノ「シーメン」ス、マルチン製鋼爐ノ操業漸ク好況ヲ呈シ三十九年ニ入リテ五千噸ノ製鋼ヲ見ルニ至リ尙ホ四十年ニ於テハ其額二萬噸ニ計上スルコトヲ得ヘシ而シテ三十九年下半年期ニ於テ六十五噸ノ高爐一坐ヲ新設シタルヲ以テ四十年ニ於ケル同山ノ銑鐵製出高ハ五萬噸ニ上ルヘシト云フ

仙人鐵山 所在地 岩手縣 和賀郡 代表者 雨宮敬次郎

從來ノ十噸熔鑛爐ノ外更ニ五噸熔鑛爐及之ニ附屬スル熱風爐一坐双筒橫臥式送風機一臺ヲ増設セリ

(五) 硫化鐵山



柵原鑛山 (銅鐵硫化鐵) 所在地 阿山縣勝田郡

本鑛山ハ從來ノ褐鐵鑛ノ外更ニ硫化鐵鑛ヲ採掘スルノ目的ニテ目下堅坑ノ開鑿中ナリ

(六) 石炭山

新夕張炭山 所在地 北海道石狩國 鑛業權者 石狩石炭株式會社

本炭山ノ七番山及八番坑ニ於テハ從來運炭用ノ「インクライン」ノ設備ナカリシヲ以テ三十九年ニ於テ七番坑ニ九十九間八番坑ニ四十六間ノ「インクライン」ヲ設ケ之ニ依リテ一日出炭量約五十噸ヲ增加シ更ニ未着手ノ鑛區中鹿ノ谷附近三鑛區ニ對シ第一期事業トシテ四個ノ水平坑道ヲ開鑿シ更ニ下部ノ炭層ヲ採掘スル爲メ斜坑ヲ開鑿シ之カ運炭軌道ハ鹿ノ谷驛ヨリ南方一哩ノ箇所ヨリ分歧シ延長三哩ノ鐵道ヲ敷設シ又本鑛區全體ノ原動力トシテ鹿ノ谷附近ニ約千馬力ノ發電所ヲ建設スルノ計畫アリ

文珠炭坑 所在地 北海道石狩國 鑛業權代表者 結城虎五郎

坑口ヨリ貯炭場ニ至ル迄二百八十間ノ車道ヲ開鑿シ且運炭專用輕便鐵道ヲ敷設スルノ計畫ニシテ現今一日ノ出炭百噸以内ナルモ堅坑完成ノ上ハ一日三百噸鐵道完成ノ上ハ一日五百噸ニ増加シ得ヘキ豫定ナリト云フ

峯延炭鑛 所在地 北海道石狩國 鑛業權者 峯延炭鑛合資會社

本炭鑛ハ素ト玉井魁介外一名ノ共同經營ニ係リ從來採炭量極メテ微々タリシモ今回之ヲ合資會社

トナシタリ而シテ休業セル隣區ノ採炭ニ着手シ今後出炭量年々三萬噸以上ノ豫定ナリト云フ

奔別炭山 所在地 北海道石狩國 鑛業權代表者 山縣勇三郎

幾春別停車場ヨリ貯炭場ニ至ル迄四十鎖間ニ鐵道ヲ延長シ而シテ貯炭場ヨリ坑口迄約千三百間ニ複線運炭軌道ヲ敷設スルノ計畫ニシテ四十年以降一萬噸以上ノ出炭ヲ爲スノ豫定ナリト云フ

春鳥炭坑 所在地 北海道釧路國 鑛業權者 安田善之助

堅坑ノ開鑿ニ伴ヒテ瀋罐及捲揚機烟突ヲ建設シ又堅坑ト既設車道トノ間二哩餘ヲ連絡スル爲メ複線車道ヲ設ケ且排水設備トシテ十吋及十八吋「スペシヤル」唧筒ヲ新設スルノ計畫ナリト云フ

歌神炭鑛 所在地 北海道石狩國 鑛業權者 濱田愛治郎

坑口ヨリ貯炭場ニ至ル約二十間ノ車道ヲ建設シ更ニ坑口停車場間約十四町間ニ單線馬車鐵道建設ノ計畫ナリト云フ

神威第二鑛 所在地 北海道天鹽國 鑛業權者 北海道炭鑛汽船株式會社

本鑛ハ元角久岡神威炭山ト稱シ種田治太郎ノ經營ニ係リシモノナルモ今般前記會社ニ於テ買收シ從來空知炭鑛所屬ノ神威第一坑選炭場ニ架空鐵索ヲ以テ連絡スルノ計畫ナリト云フ

金喜炭鑛 所在地 北海道天鹽國 鑛業權者 大和田莊七

斜坑ヲ開鑿シ新ニ各五十馬力「ランカシヤイヤ」式瀋罐二臺及九十馬力橫置複甬聯動式捲揚機ヲ設置シ更ニ斜坑ノ延長ニ伴ヒ二十吋「スペシヤル」及十吋「スペシヤル」唧筒數臺ヲ新設スルノ計畫ナリト云フ

## 内郷炭山

所在地 福島縣磐城炭鑛株式會社

從來ノ風井坑ヲ接ケ平堅坑ト改稱シ之ニ捲揚機ヲ設置シ以テ搬出及通氣ヲ兼ネシメ一ヶ月ノ豫定出炭量ハ六百萬斤ニシテ三十九年十月始メテ出炭ヲ見ルニ至レリ

## 重内炭鑛

所在地 茨城縣多賀郡茨城採炭株式會社

三十九年ニ於テハ第四坑道斜坑口ヨリ斜面距離千二百尺以下ノ採炭ニ着手シ出炭額ヲ増加セシムル爲メ既設捲揚機ヲ廢シ更ニ徑六呎六吋長二十六呎九吋二分ノ二ランカシャイヤ〔瀝瀝〕二臺及複甯捲揚機一臺ヲ新設シタリ

## 茨城無烟炭鑛

所在地 茨城縣多賀郡茨城無烟炭株式會社

從來ノ捲揚斜坑道ハ其奥部ニ於テ方向及勾配共ニ一樣ナラサルカ爲メ運炭量少額ナルヲ以テ三十七年來新ニ延長約二千尺ナル一直線ノ斜坑道ヲ開鑿シツ、アリテ現今略々竣工ヲ告ケタリ之ニ依リ捲揚量約四割ヲ増加シ既設最下部水平坑道〔四番坑〕水準以下ニ存スル多大ノ炭層ヲ採炭スヘキ途ヲ開クコトヲ得ヘシト云フ

## 秋山炭坑

所在地 茨城縣多賀郡桑田知明

從來採炭シツ、アリシ北向坑道ノ内部ニ於テハ先年採炭跡ヨリ自然發火ヲ爲シ又引立ニ於テ湧水脈ニ遭遇シ之カ爲メ同坑道ニ依ル採炭ハ殆ント中止シタルモ昨年中消火及排水ニ從事シ同坑内殘炭ノ採掘ヲ爲スヲ得ルニ至ラシメタリ又出炭ヲ増加セシムルノ目的ヲ以テ南向坑道ノ開鑿ニ着手シ本炭坑ノ炭層中多量ニ存スル粉炭ハ價格低廉ナルヲ以テ從來空ク坑内採炭跡ニ填充シツ、アリ

シカ一昨年來此地方海岸ニ於テ同粉炭ヲ利用スル食鹽製造業ノ創設ヲ見ルニ至リ一ヶ月約二千噸ノ粉炭ヲ消費スルコト、ナリシニヨリ本炭坑ハ目下銳意出炭ノ方法ヲ講シツ、アリ

## 高萩炭坑

所在地 茨城縣多賀郡千澤平三郎

本炭坑ハ一時採炭ヲ中止セシカ三十九年三四月頃ヨリ下底坑道ノ開鑿ヲ初メ徑五呎長二十呎ノコルニツシユ式汽鐘一臺及徑六吋長十吋ノ複甯捲揚汽機一臺ヲ新設シタリ

## 海軍長門坑山

所在地 山口縣美濃郡海軍省

本炭坑ニアリテハ本部ト桃ノ木斜坑間及本部ト樋ヶ谷間ニ架空鐵索ヲ設ケ大ニ運炭ノ便ヲ計レリ前者ハ「ブライヘル」複線式ヲ用ヒ其延長千七百五十米突各容器ノ積載量半噸、一分時間速度百五十米突ニシテ一時間ノ運炭量三十噸トシ後者ハ單線式ニシテ其延長千二百四十米突各容器ノ積載量百二十五噸、一分時間速度百二十米突一時間ノ運炭量十噸トス

## 勝野炭坑

（目尾潮頭ヲ含ム）所在地 福岡縣鞍手郡外一郡古河鑛業會社

從來運搬排水通氣等總テ蒸氣力ニ依頼セシカ坑内ノ延長坑水ノ増加トニ應スル爲メ三十九年中ニ之ヲ電力ニ改メ之カ原動力トシテ悉皆ノ舊汽鐘ヲ廢シ新ニ百馬力内外ノ新汽鐘三十一臺此馬力總計三千百八十九馬力ヲ設置シタリ内平素ノ需用馬力ハ約千五百馬力ニシテ剩餘ハ雨季洪水等ノ變ニ備フルモノナリ

本炭坑ニ於テハ又新ニ電動機直結「ウォルシントン」式「タルビン」唧筒八臺ヲ設置シ好結果ヲ舉ケタリト云フ

三井田川炭山 所在地 福岡縣田川郡  
鑛業權者 三井鑛山合名會社

本炭山伊田坑ニ於ケル深サ千二百尺餘ノ堅坑工事ハ順次進行シ既ニ第一坑ハ二百十尺第二坑ハ百九十八尺ニ達セリ

方城炭坑 所在地 福岡縣田川郡  
鑛業權者 三菱合資會社

從來掘鑿中ニ係ル千二十尺ノ大堅坑ハ其吹下用ノモノハ延長五百五十一呎ニシテ出水ノ爲メ一時休止スルノ止ムヲ得サルニ至リタルモ吹上用ノモノハ漸ク其目的ヲ達シ既ニ着炭スルニ至レリ

相知炭坑 所在地 佐賀縣東松浦郡  
鑛業權者 三菱合資會社

本炭坑ニアリテハ三十九年五月ヨリ選炭機ノ運轉ヲ開始シ又新ニ採炭機械ヲ採用シテ大ニ人力ヲ省クノ豫定ナリ尙ホ新ニ徑十六尺ヲ有スル圓形堅坑ノ開鑿工事ニ着手シ豫定二百六十尺ニシテ風道ニ達シ以テ既設堅坑ト連絡スル計畫アリ

終ニ製鐵業ニ關シ枝光製鐵所ニ於ケル擴張ノ梗概ヲ示スヘシ

鋼材部ニアリテハ二十五噸「シーメンズ、マルチン」製鋼爐四坐及鋼塊灼熱爐四坐ヲ増設シ新ニ厚板工場(製造力一晝夜鋼板三百噸)波板工場(同亞鉛引波形鐵板二十噸)線材工場(同鋼線材百二十噸)鋼線工場(同電信線其他十噸)平鋼工場(同平鋼板百六十噸)外輪工場(同鐵道用車輪ノ外輪徑二呎以上九呎迄平均百箇)及鋼彈工場ヲ開始シ更ニ坩堝工場及坩堝製造工場ヲ新設セリ

銑鐵部ニアリテハ「コッペー」式骸炭爐一坐(一晝夜製造力骸炭百二十噸乃至百五十噸)「ソルベー」式副產物採收骸炭爐二坐(同骸炭二百噸)ヲ建設シ「ピツチ」採收工場(一ケ年五千噸)「ピツチ」採收スルモノ及

耐火煉瓦工場(毎月耐火煉瓦約五百萬箇製造)ヲ新設シ更ニ發電所ヲ増設シテ一千馬力發電機二坐ヲ設置セリ其他以上ノ擴張ニ伴フ瓦斯發生爐、蒸汽罐、機械修理工場等ノ増設シタルモノ甚タ多ク又繫船場ニハ「ベンラート」式鑛石陸揚用起重機二臺ヲ設ケタリ